

Limitrophe

リ ミ ト ロ フ

2

特集 エマヌエーレ・コッチャとの対話——メタモルフォーズの哲学

エマヌエーレ・コッチャ、中山義達、菊池一輝、山根佑斗、人見隼平、上田圭
松葉類、宇佐美達朗、下西風澄

特集 ダリン・テネフとともに

「猫をめぐる暴力と形而上学」
「ブルガリアにおける言語モデルと文学研究をめぐる論争」
「イメージと超越——デリダと構想力の問題」

特集 ジャン＝リュック・ナンシー（柿並良佑 責任編集）

小田麟太郎、安藤歴、宗政孝希、高山花子、村山雄紀

ジュヌヴィエーヴ・プリュヴォスト（ファヨル入江容子）

志村響、菊池一輝、竹内大祐、山根佑斗

東京都立大学
人文科学研究科
西山雄二
研究室紀要

Tokyo Metropolitan University
Yuji NISHIYAMA
Office Bulletin

巻頭言 西山雄二 p. 1

特集 エマヌエーレ・コッチャとの対話——メタモルフォーゼの哲学

「エマヌエーレ・コッチャとの対話—メタモルフォーゼの哲学」(訳=清水雄大)

エマヌエーレ・コッチャ、中山義達、菊池一輝、山根佑斗、人見隼平、上田圭 p. 4

松葉類「エマヌエーレ・コッチャによるエコロジー批判」 p. 20

宇佐美達朗「技術論の仕切り直し——『メタモルフォーゼの哲学』からの一般器官学の再考」 p. 29

下西風澄「『植物の生』は『人間の生』を問い直すか——エマヌエーレ・コッチャの生命論の射程」 p. 40

特集 ダリン・テネフとともに

「猫をめぐる暴力と形而上学」 p. 54

「ブルガリアにおける言語モデルと文学研究をめぐる論争」(訳=北川光恵、菊池一輝、塩田典子、米原大起) p. 62

「イメージと超越——デリダと構想力の問題」(訳=高波力生哉、佐藤勇輝、竹内大祐、山根佑斗) p. 76

特集 ジャン＝リュック・ナンシー (柿並良佑 責任編集)

柿並良佑「序言」 p. 102

小田麟太郎「ジャン＝リュック・ナンシーにおける「命法的真理」の所在究明——「判断」「自由」「定言命法」を手がかりに」 p. 104

安藤歴「ジャン＝リュック・ナンシーによる「回帰の思考」批判について——「1968年5月」の意味をめぐる」 p. 117

宗政孝希「ジャン＝リュック・ナンシーにおける主体と自己——バタイユとの比較から」 p. 129

高山花子「劇場的エクリチュールの声——ナンシー&ラクー＝ラバルト『舞台』の対話をめぐる」 p. 140

村山雄紀「ジャン＝リュック・ナンシーの「素描」——王立絵画彫刻アカデミー「色彩論争」の観点から」 p. 150

翻訳

ジュスヴィエーヴ・ブリュヴォスト「エコフェミニズム考——サブシステム・フェミニズムとヴァナキュラー・エコフェミニズム」

(訳・解説=ファヨル入江容子) p. 161

論考

志村響「『星の王子さま』日本語訳対照研究——sérieuxの訳語をめぐる」 p. 183

研究ノート

菊池一輝「持たざるものをめぐる悲喜劇

——ラカン『転移』の『饗宴』読解における愛についての二つのテーゼ」 p. 207

竹内大祐「バタイユとヘーゲルの終わりなき共犯関係

——バタイユによるヘーゲル受容の変遷について」 p. 222

山根佑斗「ジャン＝リュック・ナンシー『単数複数存在』とスペクタクルの存在論」 p. 233

2022年度 西山雄二研究室 活動報告 p. 244

東京都立大学

人文科学研究科

西山雄二

研究室紀要

Tokyo Metropolitan University

Yuji NISHIYAMA

Office Bulletin

Limitrophe

リミトロフ

特集 エマヌエーレ・コッチャとの対話——メタモルフォーズの哲学

エマヌエーレ・コッチャ、中山義達、菊池一輝、山根佑斗、人見隼平、上田圭
松葉類、宇佐美達朗、下西風澄

東京都立大学
人文科学研究科
西山雄二
研究室紀要

Tokyo Metropolitan University
Yuji NISHIYAMA
Office Bulletin

Limitrophe

リミトロフ

特集 ダリン・テネフとともに

訳＝北川光恵、菊池一輝、塩田典子、米原大起、高波力生哉、佐藤勇輝、竹内大祐、山根佑斗

東京都立大学
人文科学研究科
西山雄二
研究室紀要

Tokyo Metropolitan University
Yuji NISHIYAMA
Office Bulletin

Limitrophe

リミトロフ

特集 ジャン＝リュック・ナンシー（柿並良佑 責任編集）

小田麟太郎、安藤歴、宗政孝希、高山花子、村山雄紀

東京都立大学
人文科学研究科
西山雄二
研究室紀要

Tokyo Metropolitan University
Yuji NISHIYAMA
Office Bulletin

2022年度 西山雄二研究室 活動報告

1. 学術的催事

2022年3月2日(水) 19:00-21:00

「ウエルベックの現代社会論「混乱へのアプローチ」を読む」

解説：八木悠允(ロレーヌ大学博士課程)、
志村響(フランス語教師)

朗読担当：卒業生(鈴木麻純、飯澤愁、矢野美久、
久津間靖英)

司会：西山雄二

主催：東京都立大学西山雄二研究室



2022年3月29日(火) 19:00-21:00

「ジャック・デリダ『歓待I』を読む」

東京都立大学より Zoom 配信

西山雄二、ダリン・テネフ(ブルガリア・ソフィア大学)、森脇透青(京都大学)

主催：東京都立大学西山雄二研究室

後援：脱構築研究会 日本語使用



2022年4月13日(水) 16:30-18:00

「ロシアのウクライナ侵攻を語る会」

東京都立大学より Zoom 配信

対話者：ダリン・テネフ、前田弘毅(東京都立大学、
西アジア・コーカサス史研究)、西山雄二



2022年5月18日(水) 18:00-20:00

「カトリーヌ・マラブー『泥棒！ アナーキズムと哲学』を読む」

東京都立大学より Zoom 配信

西山雄二×ダリン・テネフ(ブルガリア、ソフィア大学)

主催：東京都立大学西山雄二研究室



7月28日(木) 日帰り夏合宿
@本と珈琲 カピバラ (山梨・甲府)
「デリダ「コギトと狂気の歴史」を読む」
with 早尾貴紀、宮崎裕助、ダリン・テネフ



2022年8月27日(土) 10:30-17:30

1日デリダ夏合宿
「ジャック・デリダ「差延」を読む」
東京都立大学 1-110 教室

発表: 森脇透青

討議: 宮崎裕助、ダリン・テネフ、西山雄二、
小川歩人

主催: 脱構築研究会

協力: 東京都立大学西山雄二研究室

2022年8月27日(土) 10:30-17:30
東京都立大学(南大沢) 1-110 教室
一日デリダ夏合宿
ジャック・デリダ「差延」を読む

対面方式(配信はありません)
~~定員先着40名まで~~ 要事前登録

10:30-12:00 解説1「差延」 森脇透青
13:00-14:00 解説2「差延」 森脇透青
14:10-15:10 解説3「差延」 森脇透青
15:30-17:30 討議 宮崎裕助、ダリン・テネフ、西山雄二、小川歩人

主催: 脱構築研究会
協力: 東京都立大学西山雄二ゼミ



2022年9月30日(金) 17:00-20:00

ワークショップ

「ミシェル・ウエルベック、小文字の文学」

東京都立大学より Zoom 配信

司会・進行: 八木悠允(ロレーヌ大学)

発表: 西村真悟(京都大学)、長田千里(神戸大学)、崎谷聖(早稲田大学)

主催: 東京都立大学西山雄二研究室

協力: REBOX

2022年9月30日(金) 17:00-20:00
ワークショップ
ミシェル・ウエルベック、小文字の文学

Michel Foucault, la littérature en minuscule

東京都立大学より Zoom 配信
司会・進行: 八木悠允(ロレーヌ大学)
発表: 西村真悟(京都大学)、長田千里(神戸大学)、崎谷聖(早稲田大学)
主催: 東京都立大学西山雄二ゼミ
協力: REBOX



2022年11月28日(月) 17:30-19:30

「エマヌエーレ・コッチャとの対話~メタモルフォーゼの哲学」

東京都立大学 1号館 110 教室

応答: エマヌエーレ・コッチャ(フランス、社会科学高等研究院)

ディスカッサント: 上田圭(東京大学)、菊池一輝(東京都立大学)、中山義達(東京大学)、人見隼平(早稲田大学)、山根佑斗(東京大学)

司会: 西山雄二(東京大学)

フランス語使用、日本語通訳有(担当: 清水雄大) 入場無料、事前登録なし

主催: 東京都立大学西山雄二研究室、脱構築研究会

共催: アンスティチュ・フランセ日本

協力: 勁草書房

**エマヌエーレ・コッチャとの対話
——メタモルフォーゼの哲学**

2022年11月28日(月) 17:30-19:30
東京都立大学(南大沢)1号館110教室(1号館110号館)

応答: エマヌエーレ・コッチャ
(Emanuele Coccia フランス社会科学高等研究院准教授)

ディスカッサント: 上田圭(東京大学)、菊池一輝(東京都立大学)、
中山義達(東京大学)、人見隼平(早稲田大学)、山根佑斗(東京大学)

司会: 西山雄二(東京都立大学)
星野太(東京大学)
藤本一男(早稲田大学)

フランス語使用、日本語通訳有(担当: 清水雄大)
入場無料、事前登録なし、対話のみで配信なし
主催: 東京都立大学西山雄二研究室、脱構築研究会
共催: アンスティチュ・フランセ日本
協力: 勁草書房





2022年12月22日(木) 16:30-18:00

ジョイントセミナー

「カミュ『異邦人』第二部(新潮文庫)を読む」
専修大学、宮崎裕助ゼミ



2023年1月20日(金) 18.30-20.30

「金志成『対話性の境界——ウーヴェ・ヨーンゾンの詩学』を読む」

東京都立大学5号館134教室

発表者: 西山雄二、福岡麻子(ドイツ文学)、高波力生哉(フランス文学・博士課程)、森野紗英(ドイツ文学・修士課程)、米原大起(フランス語圏文化論・学部)

概要説明、応答: 金志成(ドイツ文学)

主催: 東京都立大学西山雄二研究室



2023年1月20日(金) 18:30-20:30
東京都立大学(南大沢)5号館134教室

金志成
『対話性の境界
ウーヴェ・ヨーンゾンの詩学』
(法政大学出版局、2020年)を読む

発表者: 西山雄二(フランス文学・教授)、福岡麻子(ドイツ文学・准教授)
高波力生哉(フランス文学・博士課程)、森野紗英(ドイツ文学・修士課程)
米原大起(フランス語圏文化論・学部)

概要説明、応答: 金志成(ドイツ文学・准教授)
主催: 東京都立大学西山雄二研究室

2023年1月27日(金) 16:30-19:00

「暴力の文体と戦後文学」"The Style of Violence and Japanese Postwar Literature"

東京都立大学本部棟2階特別会議室

発表: ダリン・テネフ(Darin Tenev)、ケンダル・ハイツマン(Kendall Heitzman)、呉鵬(Wu Peng)
コメント: 大杉重男、高桑枝実子(日本文学)、西山雄二、大須賀沙織(フランス文学)、金志成、福岡麻子(ドイツ文学)、越朋彦(イギリス文学)

主催: 東京都立大学西山雄二研究室

共催: 国際交流基金

2023年1月27日(金) 16:30-19:00
東京都立大学(南大沢)本部棟2階特別会議室
国際ワークショップ

暴力の文体と戦後文学
The Style of Violence and Japanese Postwar Literature

発表: ダリン・テネフ(Darin Tenev)
ケンダル・ハイツマン(Kendall Heitzman)
呉鵬(Wu Peng)
コメント: 大杉重男、高桑枝実子(日本文学)、西山雄二、大須賀沙織(フランス文学)、金志成、福岡麻子(ドイツ文学)、越朋彦(イギリス文学)

日本語使用
主催: 東京都立大学西山雄二研究室 共催: 国際交流基金



2023年2月7日(火) 18:00-19:30

「峻厳たる窮地——ミシェル・ウエルベックの文学」

オンライン配信

講演: 八木悠允(ロレーヌ大学)

主催: 東京都立大学西山雄二研究室

L'extrême impasse: la littérature de Michel Houellebecq



峻厳たる窮地——ミシェル・ウエルベックの文学
2023年2月7日(火) 18:00-19:30
講師: 八木悠允(ロレーヌ大学)
オンライン配信、質疑応答、上映: 東京都立大学西山雄二研究室

2. 演習授業

今年度は招聘教授ダリン・テネフも出席してジョイント・セミナーを実施した。ゼミは2部あるいは3部構成で、通常ゼミ、アフターゼミ (AS)、アフターアフターゼミ (AAS) の長丁場となった。

前期水曜5時限・大学院演習「20世紀の思想・文学を読む」

4月13日【公開セミナー】「ロシアのウクライナ侵攻を語る会」

対話者：ダリン・テネフ（ブルガリア、ソフィア大学／東京都立大学・招聘教授）、前田弘毅（東京都立大学、西アジア・コーカサス史研究）、西山雄二

20日【論文執筆ガイダンス】西山雄二「偽誓の薄明の方へ——ジャック・デリダ『偽誓と赦しI』を読む」（『Suppléments』No. 1）

AS：Barbara Cassin, *Plus d'une langue*, Bayard, 2012.（小学生向けの講演会。フランス語初級を終えた方から参加可能） AAS：フランス語発音特訓

27日【論文執筆ガイダンス】ダリン・テネフ「デリダにおける贈与と交換」、『人文学報』511号、2015年。

AS：Barbara Cassin, *Plus d'une langue*, Bayard, 2012. AAS：フランス語発音特訓

5月11日 学生発表：バタイユ

AS：Barbara Cassin, *Plus d'une langue*, Bayard, 2012. AAS：フランス語発音特訓

18日【公開セミナー】カトリーヌ・マラブー新刊『泥棒！ アナーキズムと哲学』を読む

25日『現代思想2022年5月号 特集＝インターセクショナリティを読む』（4/28刊行）、パトリス・ヒル・コリンズ、スルマ・ビルゲ『インターセクショナリティ』合評

AS：Barbara Cassin, *Plus d'une langue*, Bayard, 2012. ASS：フランス語発音特訓

6月1日 院生発表：デリダ『滞留』～出来事と証言

AS：【最終回】Barbara Cassin, *Plus d'une langue*, Bayard, 2012.

ASS: 【最終回】フランス語発音特訓

8日 サルトル『文学とは何か』第1章を読む AS：通訳の理論と実践

15日 サルトル『文学とは何か』第2章を読む AS：英語通訳の練習

29日 ラカン「ファロスの意味作用」を読む

7月6日 院生発表：ジュネ『花のノートルダム』

AS：ルモンド記事「いつしがみつくのをやめるのか」

13日 院生発表：ジュネ『花のノートルダム』 AS：監訳作業の手ほどき

20日 ジャン＝リュック・ナンシーのヨーロッパ論「Euryopa 遠くへの眼差し」を読む

後期水曜5時限・大学院学部演習「翻訳の理論と実践」

10月5日 翻訳論の概説

12日 Jiri Levy, « Translation as A Decision Process »

19日 ウエルベック『発言集』翻訳草稿の検討 with 八木悠允

AS：テネフ「ブルガリアにおける言語モデルと文学研究をめぐる論争」

26日 ゲーテとシュライーマハーの翻訳論 AS：院生発表：バタイユとヘーゲル

- 11月9日 ベンヤミン『翻訳者の使命』1
AS: テネフ「イメージと超越」翻訳草稿の検討
16日 ベンヤミン『翻訳者の使命』2 with 金志成、越智雄磨
AS: 院生発表: ジュネ『花のノートルダム』
12月7日 カッサン『ひとつ以上の言語』訳文検討
AS: 院生発表: デリダ『シボレート』における日付の範例性について
14日 院生発表: ラカン『転移』
21日 ベンヤミン『翻訳者の使命』3 with 越智雄磨
1月11日 ベンヤミン『翻訳者の使命』4 with 越智雄磨
18日 ベンヤミン『翻訳者の使命』5
25日 デリダ「バベルの塔」

3. 大学院生主催の読書会

ダリン・テネフ参加 @西山雄二研究室

【高波力生哉・企画運営】

- ・ポール・ド・マン『理論への抵抗』大河内昌・富山太佳夫訳、国文社、1992年。

6月17日、6月24日

- ・ルドルフ・ガシェ『読むことのワイルド・カード』吉国浩哉ほか訳、月曜社、2021年。

7月5日、7月8日、7月17日、7月29日

【高波力生哉・北川光恵・企画運営】

- ・モーリス・ブランショ『謎の男トマ 一九四一年初版』門間広明訳、月曜社、2014年

8月14日、8月20日、8月28日、12月4日、12月20日、12月27日、12月4日

【菊池一輝・企画運営】

- ・ジャック・ラカン『盗まれた手紙についてのセミナー』

11月18日、11月25日、12月2日、12月9日、12月16日



Limitrophe

No. 1

特集 カトリーヌ・マラブー／
フランスにおけるインターセクショナリティ批判

No. 2

特集 エマヌエーレ・コッチャとの対話／ダリン・テネフとともに／
ジャン＝リュック・ナンシー（柿並良佑 責任編集）

No. 3

特集 ミシェル・ウエルベック（八木悠允 責任編集）

Limitrophe（リミトロフ）

No. 2

2023 年

2023 年 3 月 31 日刊行

編集：西山雄二

デザイン：北川光恵、西山雄二

発行：192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

東京都立大学 西山雄二研究室（5 号館 516 号室）